

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 6 日現在

機関番号：32821

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2012～2015

課題番号：24593257

研究課題名(和文) 看護師長の戦略的リーダーシップ行動尺度の開発

研究課題名(英文) Tool development for nurse managers' strategic leadership behavior

研究代表者

金井パック 雅子 (Kanai Pak, Masako)

東京有明医療大学・看護学部・教授

研究者番号：50204532

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目的は、看護師長の戦略的リーダーシップ行動尺度を開発することである。文献検討ならびに有識者、現職看護部長へのヒアリングをもとに、英語版の「リーダーシップ行動尺度」を参考に15項目からなる尺度を開発した。

現職管理職63名に対して調査票を配布し、57名から回答があった(回収率90%)。そのうち欠損値などを除外し有効回答48名分を分析対象とした。因子分析は、主因子法、プロマックス回転を実施し、固有値は1を超えないことを基準としたところ4因子構造となった。さらに固有値を3としたところ3因子構造となり、クロンバックアルファは、第一因子が.89、第二因子が.77、第三因子が.70であった。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this study is to develop a measurement tool for nurse managers' strategic leadership behavior. After reviewing related literature, interview with experts and director of nursing, the first version of tool was developed based on the English version of "nurse manager's leadership behavior."

The survey questionnaire was distributed to 63 managers and 57 were returned(90%). Out of 57, 48 were used for analysis due to missing values, etc. Factor analysis using Promax rotation was conducted with eigenvalue of 1. Reliability of the first factor was .89. The second to fourth factor were .41, .46 and .31, respectively. The second factor analysis was conducted with eigenvalue of 3. Reliability of first to third factors were .89, .77 and .70, respectively. The results indicated that items of strategic leadership were not clearly separated. This could be due to smaller number of subjects. In the future study, the scrutiny of items will be necessary.

研究分野：看護管理学

キーワード：リーダーシップ行動 看護師長 戦略的 尺度開発

1. 研究開始当初の背景

本研究の着想は、看護師長の戦略的リーダーシップなしでは看護部門ひいては組織の発展はありえないという考えによるものである。研究者が学んだ米国の大学院における看護管理学専攻では、「管理のキーワードは、“ビジョン”と“プロアクト(先取り)”」が強調されている。まさに今後の日本における医療サービスの鍵を握るのは、その第一線監督者である看護師長が、需要を的確にとらえニーズを創造するビジョンを持ち、そのビジョンに向かっていかに戦略的なアクションを起こすかである。

看護管理者養成の研修プログラムは、ファースト・セカンド・サードレベルがあり、特に、セカンド・レベルでは、看護師長養成を目指している。そのセカンド・レベルの講師として、研究者はこれまで2000人以上の看護師長と関わってきた。その経験を通して、次世代を担う看護管理者の必要条件は、変革に対する概念的思考や戦略的リーダーシップ行動が求められていると確信した。

リーダーシップに関する先行研究の分析結果から、以下の2点が明らかになった。

- (1) 日本独自の看護師長のリーダーシップ行動が開発されたのは、15年前である。
- (2) 日本以外の研究者により開発され、日本国内の看護師長を対象としたリーダーシップ行動に関する研究で使用された測定尺度は二つあり、米国の経営学者によるものと看護研究者によるものである。

2. 研究の目的

本研究は、看護学を基盤とした看護管理学の新たな知識体系を創造することとなる変革期における看護管理者のリーダーシップ概念を構築し、中間管理職である看護師長の戦略的リーダーシップ行動尺度の開発を図ることを目的とした。具体的には、次の2点を目指した。

- (1) 看護管理学および経営学の視点からリーダーシップの概念分析を行い、中範囲理論としての中間管理職のリーダーシップこの概念構築を図る。
- (2) 変革期における看護師長の戦略的リーダーシップ行動尺度を開発する。

3. 研究の方法

研究方法は、次の5段階である。

- (1) 看護管理学および経営学の国内外の文献、大学のシラバスおよびテキスト、研修で使用されている講義要目から“リーダーシップ”の構成要素を抽出する。
- (2) 有識者へのインタビュー
看護管理実践の立場から、国内の看護管理者、英国の看護管理経験者、カナダの看護管理経験者。

看護管理学研究者の立場から、米国およびカナダの大学教授。

米国の病院における看護師長、専門看護師および看護部長。

国内の一般企業における管理職養成に関わった経験者。

- (3) 戦略的リーダーシップの概念構築
- (4) 看護師長の戦略的リーダーシップ行動尺度の開発。
- (5) 開発した尺度を用いた質問紙調査の実施。

4. 研究成果

(1) 戦略的リーダーシップの構成要素

管理職の役割は、4つある：伝道師、問題解決、まとめ役、そして戦略家。戦略家に関しては、特に組織のトップ・マネージャーの役割である。¹⁾

Carter & Greer²⁾の戦略的リーダーシップの文献においても、戦略家の役割はCEO、経営責任者、社長などトップレベルの管理者の役割と位置付けている。

戦略的リーダーシップの構成要素としては、ビジョン、目標達成、先を読む、先を見る、発想力、意思決定、実行力があげられる。

(2) ヒアリング結果

米国の病院のヒアリングから、ユニークな組織を展開していることがわかった。その病院では、各病棟に「看護師長」と「専門看護師」を配置している。看護師長の役割は、スタッフのマネジメント、専門看護師の役割は、患者のマネジメントとして役割を分けている。そうすることで、患者のケアに関することは、専門看護師が問題解決するので看護師長は、スタッフのことなど病棟全体のマネジメントに集中することができる。専門看護師にもヒアリングを行った結果、勤務体制はほぼ日勤で、状況に応じて勤務時間をフレックスにするとのことであった。そもそも米国では、看護師長のことを“head nurse”と呼んでいたが、現在は“nurse manager”という名称に変わっている。このことは、看護師長は、看護ケアの責任者という概念から、組織の部署をマネジメントするという概念に変化したことを表している。ヒアリングの対象となった看護師長たちも、「自分たちはnurse managerである」と強調していた。

(3) 戦略的リーダーシップ行動の概念

文献検討および有識者へのヒアリングの結果から、戦略はトップ・マネージャーの役割というのが主であった。確かに戦略は、病院長や看護部長というトップ・マネージャーの立場にある職位にとって必須の役割である。しかし、部署の責任者である看護師長も看護部長のビジョンを受け、部署としてのビジョンを立て、それに向かって部署をけん引する役割がある。さらに顧客である患者のニーズの変化や医療サービスの進歩に伴う看

護サービスの対応や政策との関連も視野に入れ、受け身のマネジメントではなく、医療サービスの対象である患者に対して、質の高いサービスを効率よく提供するために、新たな看護サービスの創造へとつなげていく思考も求められている。

これらの観点を踏まえ、看護師長という立場においても戦略という役割は必須であると確信する。戦略とは、経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報・ナレッジをいかに活用しながらビジョンに向かっていくかである。このプロセス自体が戦略的リーダーシップではないか(図1)。

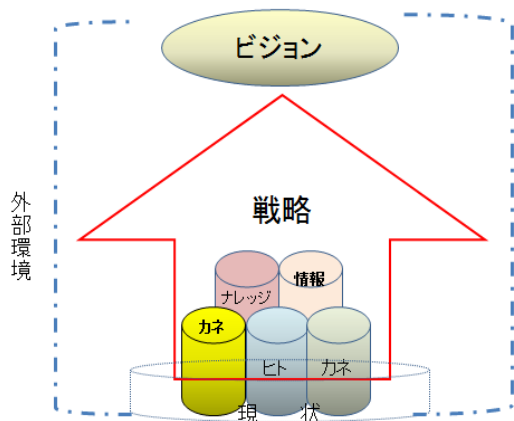


図1 戦略的リーダーシップ構造

この構造における外部環境とは、施設内の他部署のみならず、すべての環境つまり医療政策、経済状況、疾病構造の変化などが含まれる。これらの外部環境を把握することは、トップ・マネージャーのみの役割ではない。看護師長は、これらの外部環境の実態と現場での状況の双方を把握し、所属する部門の責任者つまり看護部長へ現状の課題を報告するのみならず、患者にとってどのようなサービスが必要か提案する、つまりボトムアップの戦略も必要である。

(4) 測定尺度の開発と調査

看護師長の戦略的リーダーシップ行動尺度の開発は、これまでの文献検討やヒアリングをふまえ、既存の「リーダーシップ行動尺度」をもとに15項目から構成する尺度を開発した。

この尺度を用いて11施設の看護管理職に調査を実施した。調査に関しては、東京有明医療大学倫理審査委員会の承認を受けた。対象となった施設は、調査協力の承諾が得られた便宜的サンプルである。調査票の配布は、各施設に依頼し、各自返信用の封筒にて研究者に直接返送してもらった。調査票の返信をもって、調査への協力の承諾とした。調査票は、63名に配布、回答者は57名(回収率90%)であった。そのうち有効回答である48名を解析対象とした。

因子分析は、主因子法、プロマックス回転

を実施、固有値は1を超えないことを基準とした。その結果、4因子が特定された(表1)。それぞれの因子の信頼性は、表2に示すとおりである。

表1 戦略的リーダーシップ尺度の因子分析結果

項目	因子			
	1	2	3	4
14	.917	-.072	-.067	-.005
13	.840	-.135	-.039	.056
10	.674	-.018	.146	.195
2	.649	-.022	.253	-.110
7	.571	.456	-.063	-.196
15	.445	.442	-.222	.192
3	.441	.323	-.037	.165
6	.083	.806	.026	-.157
4	-.305	.700	.112	.252
1	.057	.381	.153	.134
8	.190	-.148	.935	.063
9	.115	.446	.507	-.049
5	-.271	.366	.483	-.056
11	.041	-.046	.000	.994
12	.069	.168	.012	.383
因子相関				
	-	.545	.393	.557
		-	.352	.403
			-	.381

表2 各因子の信頼性および項目数

	Cronbach のアルファ	項目数
因子	.896	7
因子	.410	3
因子	.456	3
因子	.310	2

第一因子以外の信頼性が低いため、固有値を3として再度因子分析を試みた。その結果、3因子が特定された(表3)。さらに、各因子の信頼性も.7以上であった(表4)。

したがって、3因子構造の尺度とし、第一因子は、「戦略的行動」、第二因子は、「調整」、第三因子は、「コミュニケーション」と命名した。

今回の調査では、48名の回答であったため、測定尺として確立するには、さらなる洗練が必要であることが示唆された。また、研究者意図した「戦略的リーダーシップ行動」に関する項目に関しては、第一因子に含まれてはいるものの、意図した項目のみでの因子とは成り得ていない結果となった。このことに関する要因に関しては、今後更なる分析をする予定である。

今回開発した尺度は、version 1として、今後洗練させていく予定である。

表3 戦略的リーダーシップ行動尺度因子分析
(固有値 3の場合)

	因子		
14	.882	-.070	-.077
13	.858	-.139	-.043
10	.827	-.041	.143
2	.609	-.036	.209
11	.587	-.003	.156
3	.579	.298	-.044
15	.579	.427	-.219
7	.476	.422	-.116
12	.321	.161	.053
6	-.009	.804	-.011
4	-.116	.683	.133
1	.139	.395	.160
8	.247	-.126	.925
9	.097	.461	.480
5	-.316	.404	.472

表4 各因子の信頼性および項目数

	Cronbach の アルファ	項目数
因子	.889	10
因子	.772	4
因子	.706	3

<引用文献>

- ① 高梨智弘、マネジメントの基本、
日本経済新聞社、20-21.
Carter, S.M. & Greer, C.R. Strategic
Leadership: Values, Styles, and
Organizational Performance, *Journal
of Leadership & Organizational
Studies*, 24(4), 375-393.

5. 主な発表論文等
特になし

6. 研究組織

(1)研究代表者

金井パツク雅子 (Kanai Pak, Masako)
東京有明医療大学・看護学部・看護学科・
教授

研究者番号：50204532